

Zoom活用セミナー開催



講師の横山氏

11月17日、前橋市・ホテル1-2-3前橋マーキュリーにおいて、Web会議システム「Zoom」の基本的な操作方法を学んだ。講師は、有限会社ウェブシステム代表取締役・横山正男氏。



参加者がWeb会議を体感

はじめに、テレワークの普及によりWeb会議システムを利用する企業が急増し、中でも「Zoom」が簡単な操作性という理由で高い利用率となっている現状を紹介した。

パソコンでZoomを利用する場合、インターネット環境に加え、カメラやマイク等が必要となり、スマートフォンの場合は、通信量の面からWi-Fi環境での使用が望ましい等、Web会議システムの事前準備について説明。その後、Zoomを使用したWeb会議の体験実習に移った。

体験実習では、横山氏が主催者側となり、参加者は、講師の説明

に倣いZoomアプリをダウンロード、IDやパスワードの入力等を行い、Zoomの主機能であるミーティングを体験した。参加者が準備操作を終えると、会場前方に設置したスクリーンには、Webカメラを通して送られた参加者の映像が映し出された。

参加者側の機能として、音声ミュートやスピーカーの使用方法、また、カメラ、背景の切り替え方法等、活用できる様々な機能を紹介。さらに、会議参加者同士で利用できるファイルの共有方法やホワイトボード機能についても紹介し、これらを組合内の会議でも活用するよう提案した。



Zoomの様々な機能を操作する参加者



外国人技能実習制度適正化講習会

技能実習生受入における監理団体・実習実施者の
実務上の留意点についてアドバイス

平成31年4月、入管法改正によりスタートした特定技能の制度について触れ、改正法施行後2年をめぐりに見直しが行われる際、技能実習制度において問題が多発していることを受け、技能実習制度の廃止も検討されかねないと危機感を伝えた。その上で、監理団体及び実習実施者は、法令遵守に留意し業務を行ってほしいと助言した。



講師の山脇氏

12月3日、前橋市・ホテル1-2-3前橋マキユリーにおいて、外国人技能実習生共同受入事業を実施する組合を対象に、講習会を開催した。講師は、さくら共同法律事務所・弁護士の山脇康嗣氏。

山脇氏は、入管法、技能実習法、外国人関連法制を専門とし、監理団体の外部監査人や入管業務・技能実習業務を多く手掛けている。

不正行為認定による行政処分件数の推移

	実習実施計画認定取消		監理団体許可 取消組合数
	企業数	件数	
平成30年	4	15	1
平成31年 (令和元年)	14	217	2
令和2年	66	1,018	8

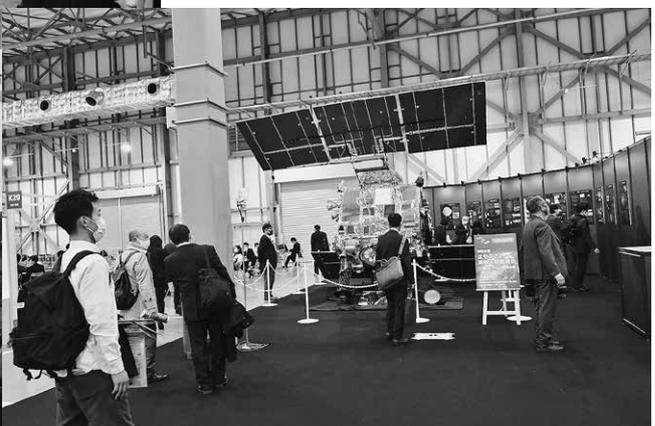
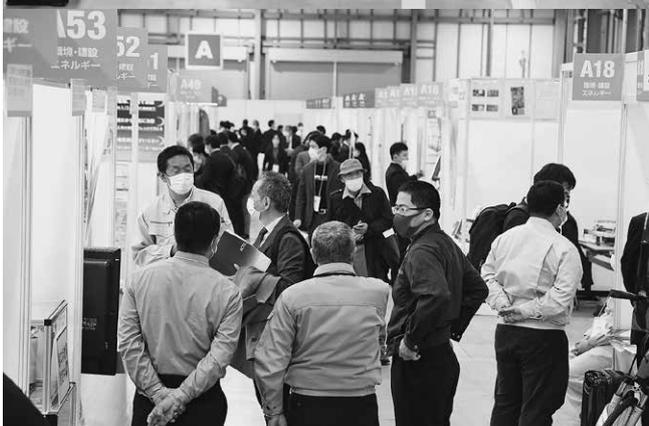
令和2年12月18日時点
外国人技能実習機構ホームページより

次いで、技能実習生共同受入事業における監理団体の実務上の留意点や対応策を説明。

まず、実習実施者が実習認定取消事由に該当する疑いがあるときは、直ちに臨時監査を行う義務があることを詳しく言及。また、許容されない業務委託(名義貸し禁止)について、委託が認められるのは、補助的な業務であるため、高額な委託費は、外国人技能実習機構の实地検査で入念にチェックが行われる可能性が高くなると注意を促した。



中小企業 新ものづくり・ 新サービス展



- 群馬県出展企業一覧 (順不同)**
- ・加藤金属工業株式会社
 - ・島田工業株式会社
 - ・株式会社C&T
 - ・有限会社エアコンサービス
 - ・群馬合金株式会社
 - ・株式会社エム・エス・ケー
 - ・株式会社浦和製作所
 - ・桐生電子開発合同会社
 - ・株式会社ヨシカワ
 - ・株式会社桐生明治
 - ・妙義プレスウッド株式会社

12月7日～9日の3日間、東京都江東区・東京ビッグサイトにおいて、ものづくり補助事業の成果をPRする展示商談会「中小企業新ものづくり・新サービス展」が開催された。

会場には、約650事業者が出展。群馬県地域事務所の採択企業からは左記の11事業者が出展した。

会場内は、出展内容に応じて8つのゾーンにブースを展開。また、マッチング専門家による「よろず相談デスク」が設置され、来場者に対する企業や技術等の紹介等も行われた。

なお、本展示会は、ブース出展に加えて、Webによる出展も行われ、会期後もホームページ内の「出展者検索システム」を利用することで、ブースとWebの両出展企業から連携先等の検索が可能。



中小企業の人材確保・定着支援事業

「群馬で就職！外国人向け合同企業説明会」



12月11日、高崎市・Gメッセ群馬において、新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じて「群馬で就職！外国人向け合同企業説明会」を開催した。

本説明会は、コロナ禍の影響で外国人留学生の内定率が厳しい中、優秀な外国人材を確保したい企業に出会いの場を提供するため今回初めて企画した。

当日は、県内に本社・事業所を有する9社が参加し、令和3年3月卒業予定の県内の大学や専修学校の学生など求職者46名が来場した。

各企業ブースでは、採用担当者からの募集内容や採用条件等の説明に対し、真剣に耳を傾け質問する姿が多くみられ、就職への意欲の高さがみて取れた。

参加企業は幅広い業種が集まり、外国人材の採用経験がない事業所もみられた。採用担当者からは、「予想以上に優秀な学生が多く来訪してくれた」「来年は早い時期の開催を望む」などの感想が寄せられた。

また、当日は複数の報道関係者が来場し、留学生に取材を行うなど関心の高さが窺われた。